

# 令和2年度 中学校第3学年 自宅学習課題

4月15日（水）～21日（火）分 ※ 課題の提出日は5月7日（木）です。

国語	下に示した『言葉の共有』の学習課題に取り組んでください。
数学	<ul style="list-style-type: none"><li>教科書「中学数学3」の「7章 三平方の定理」 P198～202をよく読んで、「問」・「たしかめ」を解きましょう。</li><li>「体系数学2 幾何編」の P108～P111 の「練習3」～「練習6」まで解きましょう。</li><li>三平方の定理には様々な証明があります。 自分で調べ、好きな証明を一つ選びなさい。 そして、その証明を先生になったつもりで自分の家族の誰か一人に説明してください。 自分がなぜその証明を選んだのか、人に説明してみての感想、家族の人の反応を400字程度でまとめてください。 (原稿用紙を用意する必要はありません。)</li></ul> <p>※課題はすべて、ノートまたはルーズリーフに書いて、提出してください。</p>
社会	<p>※必修</p> <p>練成テキスト地理P144～P153の東北・北海道を教科書、配布されたプリント、練テキの解説を参考に解いてみる。</p> <p>練成テキストに直接記入しても、ノートなどに解いてもかまいません。</p> <p>※前回の歴史課題が終了していない人は引き続き取り組んでください。なお、前回提示した小学館の歴史漫画を <a href="https://kids-km3.shogakukan.co.jp/">https://kids-km3.shogakukan.co.jp/</a> は期間が延長になったようです。引き続き無料で読むことができます。</p> <p>※チャレンジ課題</p> <p>ちょうど1年前、日本は新しい元号「令和」の発表にわいていました。授業でも取り上げましたね。元号が改元されるのにはいくつかの理由がありました。さて、つぎの元号の改元をみてください。</p> <p>〔平安時代〕 延喜→延長 正暦→長徳 長徳→長保 長久→寛徳 永承→天喜 など</p> <p>〔鎌倉時代〕 元久→建永 元仁→嘉祿 建長→康元 延慶→應長 嘉暦→元徳 など</p> <p>〔室町時代〕 至徳→嘉慶 宝徳→享徳 など</p> <p>※それぞれの時代これ以外にも同じ理由で改元された例はもう少しあります。</p> <p>〔安土桃山・江戸時代〕：この理由での改元は1度もありません。</p> <p>そこで、皆さんに調べ、考えてもらいたい課題は、</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 平安、鎌倉、室町のこれらの改元の理由には共通点があります。その共通点をインターネットを使い調べて簡単に書きなさい。</li><li>2 この共通点で改元された元号の1つを調べ、簡単にどのような状況なのか、下記の例を参考に簡単にまとめなさい。 例) 平成から令和：2022年ぶりとなる天皇の譲位に伴い改元が行われた。</li><li>3 安土桃山時代は3つしか元号がないので、この理由での改元はあてはまらないのですが、江戸時代には34回改元があったのにもかかわらず、この理由での改元は1度もありませんでした。江戸時代にこの理由での改元がなかった理由を考えてまとめなさい。</li></ol>

	<p>〔作成にあたって〕</p> <p>ノートに手書きでも、パソコンで作成し、A4版で印刷したものの提出も可能です。提出物には、クラス、番号、名前を書き、提出してください。1ページ以上になんでもかまいません。</p> <p>※元号に関しては教科書P8、資料集の年表などを参考にしてもいいです。</p>
英 語	<p>【必須課題】</p> <p>《New Treasure English Series Stage 2 のpp.46-48とpp.62-64のReadについて》</p> <p>①音読する。</p> <p>②各文の日本語訳を言う。</p> <p>③意味がすらすら言えなかった英文はノートに写し（手元にあるノートで構いません），辞書等で調べながら意味を書く。</p> <p>④それぞれ英文10文程度で本文の要約文を書く。</p> <p>《副教材『5-Stage 英文法完成 BOOK 3』が届いたら取り組むこと》</p> <p>※解答は（昨年度使っていた）「5-Stage用ノート」に書くこと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• pp.4-5 「Book 2の総復習」 pp.30-37 「Unit 4 時制のまとめ」</li> </ul> <p>【チャレンジ課題…余裕があったら取り組むこと】</p> <p>《『Value 1000』の復習》</p> <p>No.1 の people ~ No. 550 の ocean の英単語が読めて、なおかつ意味が言えて、何も見ずに英単語が書けるようにする。1日で自分がチェックする単語数を決めておき、毎日コツコツと進めること。</p>
理 科	<p>①教科書P6～7の「観察1 細胞が分裂するときの変化」をよく読んで、この観察と昨年行った細胞観察の手順とはちがう部分がどこかをノートにまとめましょう。また、その手順が必要な理由も書きましょう。（使用する薬品等も）</p> <p>②教科書P7の結果の写真を見て、昨年見た細胞と核のようすが違うものを鉛筆（シャープペン）で囲みましょう。また、囲んだ細胞が教科書P9の図5の①～⑥のどの過程と似ているか、P7の囲ったところに①～⑥を書き入れましょう。</p> <p>③教科書P6～9をじっくりと読んで、染色体とはなにか、体細胞分裂の過程などについて自分なりにノートにまとめてみましょう。（図に書いてまとめてよい。）</p> <p>【前回の発展】訂正があります。      •・•「ウイルスと細胞のちがい」ではなく「ウイルスと細菌のちがい」の間違いました。おっちょこちょいでごめんなさいm(_ _)m      そもそも、ウイルスは細胞の定義にはあてはまらない、生物か無生物かで議論される存在でした。興味がある方は、福岡伸一著「生物と無生物のあいだ」（講談社現代新書）を読んでみてください。生物学に興味がある方は必読に値する本だと思います。</p> <p>【今回の発展】最新調査によると、「成人の細胞の数は60兆個ではない」と報告されています。何年のどこの研究調査でいったい何個と発表されているのかを調べてノートにまとめてみましょう。</p>

『言葉をより深く理解するために』を一読しましよう。

まとめ(後ろから二段落目から)に、大切なことが書かれていますね。対話とは、現実に言葉をやりとりするひとだけではない、「読むいと」も書き手との対話だとしています。であるならば、今、私が綴っているこの文章を読むいとで、皆さんは私と対話していふいとになりますね。

### 〔言葉の共有 p.2～p.5〕

0 本文を読む前に、自身の経験を振り返つてもらいたいと思います。これまでに誰かに言われた言葉で、自分の支えになっているものがありますか。

〈誰かに言われた言葉で、自分の支えになっているもの〉

ちなみに私は弟から言われた言葉で、……今度お話ししますね。

1 形式段落に番号を付しましょう。全部で十段落です。

2 p.2 の青い文字の目標を確認しましょう。

3 本文を黙読します。意味や読み方を後で調べたい言葉に鉛筆で印をつけながら読みます。また、本文を二つに分けるとすると、後半は何段落から始まるか、予想を立てながら読みましょう。

4 教科書の脚注にある言葉や、意味の分からなかつた言葉の意味を調べてノートに書きます。

5 本文をもう一度黙読しましょう。

6 後半は七段落(p.31.16)から始まります。前半部分、後半部分はそれぞれどのような事柄が述べられていますか。ノートに書きましょう。

〈前半〔一～六〕……

〉

〈後半〔七～十〕……

〉

7 〔五段落「そうした中で…」から、六段落終わり「…と激励してきたのである。」までを通して音読します。〕 「私」の強い感動が表れるふうに注意して読みます。

〔七〕段落を読んで答えましょう。「彼」にとって、「どうもない、どうもない」という言葉はどういう意味をもつた言葉なのでしょう。

〈筆者の考察 「彼」にとつてどのような意味をもつた言葉か〉

〔六〕段落のはじめ「身を洗われるような感じが私を走った」という表現に、「私」の強い感動が表れています。この瞬間の感動は、目の前の生徒の成長を見たことに他なりませんが、時をおいて考えることにより、「私は、より深い感動をかみしめているのではないでしようか。「私」が真に感動したのはどのようなことに対してもすか。

〈筆者が真に感動したこと〉

#### 参考資料 原典より

私たちは、障害児のことばや子どものことばを、自分たちに比べて、低い、未発達で不十分なことばとしてとらえ、それらを私たちに近づけることにおいてしか、かれらとの言語的かかわりを考えていません。しかし、彼らとのコミュニケーション事態のなかにおいては、子どもたちも私たちも、ともにひとりの人格的存在として、自己を表現し、相手と通じあいを求めてことばを用いているのである。そのことにおいて、彼らのことばがいかに変則的であり、またたどたどしくとも、それが持つ意味は大きいのである。

そして、私たちが自分のことばのなかにすでに忘れ去っているような言葉の本質が、障害児や子どもの言葉のなかに珠玉のごとく光っているのを見落としてはならないだろう。ことに、私たちのことばが人間疎外を深める手段と化している今日、ことばを獲得しようと苦闘し、たどたどしさのなかに懸命に自己を表現しようとしているかれらの姿からこそ、私たちおとなは自分たちのことばの現状を見直す必要があるのでなかろうか。

〔10〕この参考資料の文章の中に、「私たちのことばが人間疎外を深める手段と化している」とあります。『最初の質問』にも、「時代は言葉をないがしろにしている」という文がありました。現代社会において、言葉をめぐる問題にはどのようなことが挙げられると考えますか。また、言葉をどのようなものと捉え、どのようにしていくべきと考えますか。あなたの考えを200字～300字でまとめましょう。

#### 〔11〕新出漢字の練習をしましよう。